

社会資本総合整備計画 事後評価書（中間評価書）

平成30年8月17日

計画の名称	緑と潤いのある生活環境づくり								
計画の期間	平成24年度～平成28年度（5年間）			交付対象	葛城市				
計画の目標	<p>「葛城市緑の基本計画」の「総合的な緑地配置計画」に基づき、日常圏を対象とした公園を適正配置する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 計画的な公園整備により、市民にとって潤いのある生活環境づくりを進め、地域の身近なコミュニケーションの場を創り出す。 市街地において重点的に公園用地を確保することにより、身近な公園の不足地区の解消とともに、温室効果ガス吸収源対策に資する公園緑地の整備を行う。 								
計画の成果目標（定量的指標）	<ul style="list-style-type: none"> 平成28年度までに8箇所において温室効果ガス吸収源対策に資する公園緑地の整備を行い、1人当たりの都市公園等面積を9.7㎡/人（平成24年度）から11.52㎡/人とする。 また、葛城市43地区別（大字）の1世帯当たりの公園面積の平均面積を70.52㎡（平成24年度）から76.83㎡とする。 								
定量的指標の定義及び算定式				定量的指標の現況値及び目標値			備考		
				当初現況値 (H24末)	中間目標値 (H26末)	最終目標値 (H28末)			
① 都市公園等1人あたり面積 →市内の都市公園等面積の合計値を全市の人口で除した値とする。				9.7㎡/人	9.77㎡/人	11.52㎡/人			
葛城市43地区別（大字）の1世帯当たりの公園面積の平均面積 →葛城市43地区別（大字）毎の1世帯当たりの公園面積の平均値とする。				70.52㎡/世帯	70.72㎡/世帯	76.83㎡/世帯			
全体事業費	合計 (A+B+C)	727百万円	A	727百万円	B	0百万円	C	0百万円	効果促進事業費の割合 C/(A+B+C)

事後評価（中間評価）

○事後評価（中間評価）の実施体制、実施時期	
事後評価（中間評価）の実施体制	事後評価（中間評価）の実施時期
整備計画所管課にて実施	平成30年度
	公表の方法
	市ホームページにて公開

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業																	
A1 都市公園・緑地等事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	事業及び施設種別	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
											H24	H25	H26	H27	H28		
1-A1-1	公園	一般	葛城市	直接	葛城市			吸収源対策公園緑地事業（今在家地区ほか7地区）	今在家公園他7箇所における用地取得及び園路・植栽等の整備	葛城市						727	
1-A1-2																	
1-A1-3																	
1-A1-6																	
1-A1-7																	
小計（都市公園・緑地等事業）															727		

B 関連社会資本整備事業														全体事業費 (百万円)	備考	
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)						
										H23	H24	H25	H26			H27
											合計					
番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考	
C 効果促進事業														全体事業費 (百万円)	備考	
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)						
										H23	H24	H25	H26			H27
											合計					
番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考	

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況

- ・都市公園を新規に整備したことにより、1人当たりの都市公園等の面積が増加した。
- ・葛城市43地区別(大字)の1世帯当たりの公園面積の平均面積が増加した。

II 定量的指標の達成状況

指標①(都市公園等1人あたり面積)

最終目標値

11.52㎡

目標値と実績値
に差が出た要因

概ね順調な事業進捗であった。

最終実績値

11.12㎡

指標②(葛城市43地区別(大字)の1世帯当たりの公園面積の平均面積)

最終目標値

76.83㎡

目標値と実績値
に差が出た要因

当時計画していた公園面積よりも実際の公園供用面積が小さくなったこと及び整備を予定していたが、地元の合意形成が図れず整備できなかった公園があるため。

最終実績値

67.62㎡

III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)

3. 特記事項(今後の方針等)

整備した都市公園の管理を適正に行い、市民の潤いある生活環境の維持・向上に努める。
また、今後も市街地の公園不足地を中心に都市公園の整備を進めていく。

(参考図面)

